

日本語中級読解クラスの学習者の語彙に対する意識 —学習者の作成した語彙リストと短文から—

高橋 雅子

Abstract: Understanding of reading comprehension is related to linguistic elements such as vocabulary, grammar, the individual's cognitive elements. However, the difficulty of vocabulary in the text and troublesomeness to look up many unknown words can be seen as primary factors for a learners. Therefore, in order to see the awareness of vocabulary for learners, the following points were examined in this paper. 1) Comparison of vocabulary of a list created by extracting unknown words from a Japanese text to the Japanese Language Proficiency Test vocabulary list. 2) Learners' selection of vocabulary from the list they want to remember and creation of sentences. From this, the following two tendencies were seen. 1) Learners were not necessarily aware that all unknown vocabulary in Japanese text were unknown words. 2) Passive vocabulary and active vocabulary differs with each learner. From the above, it is thought not necessary to cover all the unknown vocabulary of the text in a reading comprehension class, but the instruction of the minimum amount of vocabulary essential for understanding the content of the text, and studying individually vocabulary each learner wants to understand and use is necessary.

Keywords: 日本語読解クラス、日本語中級レベル学習者、未知語彙、語彙の個人化

1. はじめに

外国語としての日本語の読解は、語彙や文法、段落展開などの言語的要素、内容を理解する上での日本語学習者（以下、学習者）個人の認知的要素、長い文章への慣れなどが関係している。館岡（2012）では、読解の指導方法を大きく次の3つに分けた。一つ目は読解とはテキストを構成している文字・語彙・文法などの言語的要素をもとにして読むという考え方の「構成主義的アプローチ」、二つ目は言語的要素だけではなく読み手がテキストについてすでにもっている知識を投影させて読む「認知主義的アプローチ」、三つ目は学習者が主体的に協働で学び合って読解活動をする「構成主義的アプローチ」である。

このように読解の方法はさまざまであるが、読解が苦手な学習者は、語彙が難しいから読めない、未知語彙が多く辞書で調べるのが億劫などの理由で、語彙が読解の苦手意識の要因になっていると考える傾向がある。

山方（2008）でも、読解において「迅速で正確なテキスト理解には文字や語彙の下位レベルの言語処理スキルが重要であり、語彙知識は必要不可欠なものだと言える」と述べている。同様に、館岡（2012）でも、読解で学習者はテキストに出てくる語彙や文法がわからないために文章内容に関する適切な理解ができないこともあり、そのための支援が必要であると述べている。

そこで、本稿では日本語の読解テキストにおける語彙に対する学習者の意識を、学習者が作成した語彙リストと短文をデータとして分析し、考察する。

2. 日本語読解クラスの概要

立教大学の短期留学生用日本語プログラムは J0 レベル（初級）から J8 レベル（超級）の 9 つのレベルの日本語授業を開講している。学習者は、毎学期の授業開始前に行われるプレースメントテストの結果によってクラスが決定される。また、J4 レベル以上は、「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」と技能別にクラスが開講されている¹。

本稿では J5 レベル、J6 レベルの読解クラスを調査対象とする。それぞれのレベルについては以下のとおりである。

J5：日常生活の場面では、何の問題もなく日本語で対応できる方々を対象とします。

J6：一般的な事柄について会話ができ、日本語の雑誌、新聞が辞書を使いながら正確に読める上、自分の意見を日本語で正確に書ける方々を対象とします。

（立教大学日本語教育センターホームページより）

日本語プログラムは 1 学期 14 回の授業を行っており、本稿では第 1 回目から第 5 回目までの授業のデータを分析対象とする。

読解 J5、J6 クラスでは、「必要な情報を取る」、「大意を把握する」、「キーワードを探す」、「指示表現に注意する」、「接続表現に注意する」など各回で読み方の目標を設定している。使用教材は各回の目標に沿って中級レベルの読解の教科書から抜粋し使用している。

また本稿の調査協力者である 2012 年度後期の履修者は、読解 J5 クラスが 9 名、読解 J6 クラスが 10 名である。

3. 学習者の読むことへの対応

読解 J5、J6 クラスの第 1 回目の授業で、読むことについて考える時間を設けた。普段、母語や外国語で何をどのように読んでいるか、またわからない言葉があった時どう対応しているかを各自シート²に記入し、その後、クラス全体でディスカッションを行った。

学習者が母語で普段読んでいるものとして、メール、Facebook、ブログ、インターネットのニュース記事、ファッション雑誌、小説、機器の取扱説明書、専攻分野の論文・専門書などが挙げられた。一方、外国語（主に英語と日本語）で普段読んでいるものとして、大学の授業の履修要項、語学学習のための教材などが挙げられた。

また、読み方は、「最初から最後まで丁寧に読む」、「自分の興味・関係のある部分だけを読む」、「ざっと流して読む」など読み物の種類によって変えているという意見がほとんどであった。

読んでいる際にわからないことばがあった時の対応は、ニュースや雑誌などは「前後の文脈で判断する」という回答が多く、専門の読み物は「辞書で調べる」、メールや機器の取り扱い説明書は「友達に聞く」という意見が多く出た。

4. 読解テキストにおける未知語彙

4.1 語彙リストの作成

小林（2008）は、読解教材において「語彙リスト」は教材に登場する語彙の読み方や意味を提供し、読みの負担を軽減させ、学習者に予習をさせる役割が強いという暗黙の前提があることを指摘し、さらに従来の日本語中上級レベルにおける語彙リストは、文脈に応じて意味を

使い分ける認知的負荷が高く、教室内での説明や学習活動として扱う情報のみを提供されていることにも触れている。

上述の小林（2008）の指摘のとおり、中上級レベルの読解クラスにおける予習としてのテキストの語彙の意味調べは、文脈がない状況では語彙の意味が識別しにくい。そのため、本稿が対象としている読解 J5、J6 クラスでは、語彙の意味調べの予習はさせていない。授業では、まずは辞書を使用せず未知語彙の意味を文脈で推測し、2回目以降に読む際に各自で辞書を用いて意味を確認するという手順で進めている。

その代わり、毎回の宿題として、授業で使用した教材の中で学習者が自分で未知語彙と判断したものをシートに書き込んで意味を調べ、語彙リストを作成することを課した³。これは学習者がテキストの中のどの語彙が自身にとっての未知語と判断しているかを見ることを目的としている。

リストに挙げられた語彙の意味の記入は、学習者の母語でも日本語でも良いことにした。J5 レベルの学習者は全員、母語・英語で意味を記入していたが、J6 レベルの学習者の数名は簡単な日本語で言い換えて意味を説明していた。また、語彙リストに反対語や類義語も併記している学習者もあり、自律的に語彙を学ぶ姿勢が見られた⁴。

4.2 未知語彙のレベル

5回分の教材の中で、学習者がテキストの中から未知語彙と判断して抽出し、語彙リストに記入した語彙は、日本語能力試験²のどの級に当たるかを表1、表2に示す。

表1 授業ごとに J5 レベル学習者が未知と判断した語彙数と対応する日本語能力試験の級⁶

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	合計語彙数	割合 (%)
級外	17	29	25	19	20	110	44.0
1級	5	6	8	9	8	36	14.4
2級	16	10	20	16	20	82	32.8
3級	4	1	8	3	3	19	7.6
4級	2	1	-	-	-	3	1.2
計	44	47	61	47	51	250	100.0

表2 授業ごとに J6 レベル学習者が未知と判断した語彙数と対応する日本語能力試験の級

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	合計語彙数	割合 (%)
級外	30	20	29	23	15	117	46.6
1級	11	16	10	15	14	66	26.3
2級	11	14	14	9	12	60	23.9
3級	5	1	-	1	1	8	3.2
4級	-	-	-	-	-	0	0
計	57	51	53	48	42	251	100.0

読解 J5 クラスは日本語能力試験 N3 レベル（旧2級と3級の間のレベル）、読解 J6 クラスは日本語能力試験 N2 レベル（旧2級レベル）程度に当たると考えられる。それを反映し、J5 クラス、J6 クラスの学習者が未知と判断した語彙は、日本語能力試験の中上級レベルの語彙に対応していると言える。J5 レベルの学習者は級外語彙の次に2級レベルの語彙を未知と判

断し、J6 レベルの学習者は級外語彙の次に 1 級レベルと 2 級レベルの語彙を未知と判断している。

しかし、使用テキストには学習者が抽出していない日本語能力試験の級外・1 級レベルで、学習者にとって未知だと思われる語彙が他にも多々ある。学習者にその語彙をリストに入れなかった理由を聞いたところ、テキストの内容理解に関係のない語彙だから、未知ではあるが漢字で意味が判断できる語彙だから等の答えが返ってきた。このことから、学習者はテキストの未習語彙の全てを語彙リストに入れているわけではないことがわかった。

4.3 未知語彙に対する学習者の意識

学習者が作成した未知語彙の語彙リストには「覚えたい語彙」に印をつける欄も設けた。

クラスの履修学習者の半数以上（5 名以上）が未知語彙として抽出した語彙と、その語彙を覚えたいと思った学習者数を表 3、表 4 に示す。

表 3 J5 レベルの学習者が未知と判断した語彙、及びそれを覚えたいと思った学習者の数

語彙（授業回）	未知語彙と判断した学習者数（人）	覚えたいと思った学習者数（人）	日本語能力試験のレベル
熟読（1）	5	4	級外
収容人員（1）	5	5	級外
封筒（1）	6	5	4 級
片道（2）	5	5	2 級
身障者（2）	5	4	級外
削り取る（2）	6	4	級外
求める（2）	5	4	級外
索引（3）	7	4	2 級
活躍（3）	5	3	2 級
祝う（5）	5	4	3 級
流暢さ（5）	5	3	級外
持ち味（5）	5	5	級外

表 4 J6 レベルの学習者が未知と判断した語彙、及びそれを覚えたいと思った学習者の数

語彙（授業回）	未知語彙と判断した学習者数（人）	覚えたいと思った学習者数（人）	日本語能力試験のレベル
素早い（1）	5	5	1 級
低迷（2）	8	5	級外
ひときわ（2）	7	4	級外
最先端（2）	5	1	級外
奉仕（2）	8	4	1 級
寛容（4）	8	7	1 級
海賊版（4）	5	3	級外
面食らう（4）	8	6	級外
干渉する（4）	9	6	1 級
まして（4）	6	4	1 級

J5 レベルの学習者の半数以上が未知だと判断した語彙は、未知語として挙げられた 250 語

の内、12語に留まった。残りの238語は未知語彙だと判断した人数がクラスの半数以下であった。同様に、J6レベルの学習者の半数以上が未知だと判断した語彙は、未知語として挙げられた251語の内、10語に留まった。残りの241語は未知語彙だと判断した人数がクラスの半数以下であった。このことから、学習者が未知と判断した語彙は、同レベルであってもばらつきがあると言えるであろう。

また、未知と判断した語彙を覚えたいと思う人数は、J5レベルでは表3が示すように12語の中でほぼ同数であったのに対し、J6レベルでは語彙によって人数に差が出た。J6レベルの5名の学習者が未知と判断した語彙の「最先端」を「覚えたい」と思った学習者は1名のみであった。他の4名は未知語彙であるが、覚えたいとは思っていない語彙であることがわかった。

一方、未知語彙の日本語能力試験のレベルとの対応については、J6レベルが級外と1級レベルの語彙だけであるのに対し、J5レベルは語彙の難易度にばらつきがみられた。半数以上の学習者が未知と判断した表3の12語の日本語能力試験のレベルの内訳は、級外が7語、1級が無し、2級が3語、3級が1語、4級が1語であった。「封筒」は9名の履修者の内6名が未知語彙と判断し、うち5名が「覚えたい」と認識しているが、この語彙は日本語能力試験の4級レベルの語彙である。日本語能力試験の4級レベル（現N5）は「基本的な日本語がある程度理解することができる」レベルで、読むことに関しては「日常生活で用いられる基本的な語句や文、文章を理解することができる」という初級のレベルである⁷。中級レベルであるJ5クラスの学習者が4級レベルの語彙を未知と抽出した理由について質問したところ、「初級の教科書で習ったような気がするが、普段の生活で封筒はあまり使わないので忘れていた」といった説明が返ってきた。日本語能力試験で初級レベルの語彙で、かつ既習であっても、学習者が使用しない語彙であれば「未知語彙」と判断されていることがわかった。

4.4 未知語彙による短文作成

語彙リストにある未知語彙の中で、学習者が「覚えたい」と印をつけた語彙を用いて3つ程度の短文を作成する活動を毎回の授業で5分行った⁸。短文作成の際には、各自が作成した語彙リストや辞書の使用を認めた。

J5レベルの学習者の9名中6名が未知と判断し、うち5名が「覚えたい」と印をつけた「封筒」を用いて短文を作成した学生は4名であった。以下が学生の作成した短文である（原文ママ）。

- ・封筒の中にお金がたくさんありましたのに、なくしちゃった。
- ・手紙を送りたいので、封筒を買わなければならない。
- ・ふうとうをなかなかあけられなかったから、今でもお手紙の内ようは分かりません。
- ・ラブレターは封筒に入っていたけれど、相手に送る勇気がない。

学習者にこの短文を作成した背景について聞いたところ、全員が自身の経験したことだと説明をした。学習者は現在、メールでのやり取りが主になっており、手紙や「封筒」を使用する場面はあまりない。「封筒」は既習であるが忘れていた語彙である。しかし、学習者が自身の経験を振り返ると、やはり覚えていた方が良い語彙と判断し、短文作成に用いたとのことである。

一方、J6レベルの学習者の10名中8名が未知と判断し、うち7名が「覚えたい」と印をつけた「寛容」を用いて短文を作成した学生は4名であった。以下が学生の作成した短文である（原文ママ）。

- ・相手は子供だからいたずらにはもう少し寛容になるべきだ。
- ・今日の社会は晩婚者に対して寛容になりました。
- ・イギリスは心が寛いし、寛容を大事にする人が多いです。
- ・社会はだんだんオタクを寛容してきました。

これに関しても、学習者にこの短文を作成した背景について聞いたところ、J5 クラス同様、全員が自分が普段、または最近考えていることだと説明をした。

他の短文を見ても、J5、J6 クラスとも学習者自身の経験や考えていることをもとに短文を作成している学習者がほとんどで、辞書の使用を認めているにもかかわらず、辞書に載っている例文を引用・参考にした学生はいなかった。

学習者の作成した短文から「未知であり、覚えたい語彙」の使い方は、各学習者によって異なっていることが見えた。学習者は、自分の意志で覚えたいと思った語彙を、個人の経験や考えを表現することに使用している。川口 (2004) は、「他の誰のことでもなく、表現主体本人が自分について表現すること」を「個人化 (personalization)」とし、文法指導は「個人化」して行うべきことを論じた。この川口 (2004) の「個人化」は文法だけではなく、語彙の指導・学習についても同様に考えることが出来るであろう。

5. まとめ

今回の分析では、以下の二つの傾向が見られた。

一つ目は、学習者は、日本語テキストの未習語彙のすべてを未知語彙として認識しているわけではなく、テキストを理解するのに必要だと判断した語彙や、授業で話題に上がった未習語彙を未知語彙として抽出している。

二つ目は、読解のテキストにおける学習者の未知語彙は、ある程度日本語能力試験のレベルと対応しているものの、自分にとって覚えるべきか、必要であるかは学習者によって異なる。

館岡 (2012) では、読解のクラスで日本語教師は新出語彙や文法項目の指導に力を注ぎがちで、本来主眼においていたはずの読解の指導がおろそかになりがちなることを指摘し、理解語彙と使用語彙に分けて指導することをその重要性を述べている。

このことから、読解の授業では、テキストの未習語彙すべてを扱う必要はなく、テキストの内容理解に関する必要最小限の語彙の指導、および学習者各々が自分の理解・使用したい語彙の個人での学習が必要だと思われる。

本稿では、分析のデータが2クラスの5回分の授業で、学習者が19名と少なく、ここから読解クラスの語彙の指導に関する提案をすることはできない。今後は、データを増やし、より良い読解授業、語彙指導に結びつくような分析・考察をしていきたい。

参考文献

- 川口義一 (2004) 「表現教育と文法指導の融合—働きかける表現と語る表現から見た初級文法—」『ジャーナル CAJLE』6, pp.57-70 カナダ日本語教育振興会
 国際交流基金 (2006) 『国際交流基金 日本語教授法シリーズ 第7巻「読むことを教える」』ひつじ書房
 小林由子 (2008) 「漢字・語彙学習における「語彙リスト」の役割」『日本語教育方法研究会誌』vol.15 No.2, pp.42-43 日本語教育方法研究会

館岡洋子 (2012) 『日本語教育叢書「つくる」読解教材を作る』スリーエーネットワーク
山方純子 (2008) 「日本語学習者のテキスト理解における未知語の意味推測—L2 知識と母語背景が及ぼす影響—」『日本語教育』139号, pp.42-51 日本語教育学会

日本語読解学習支援システム リーディングチュウ太「レベル判定」

<http://language.tiu.ac.jp/> (2012.11.7 アクセス)

日本能力試験「日本語能力試験とは」

<http://www.jlpt.jp/about/index.html> (2012.11.7 アクセス)

立教大学日本語教育センターホームページ「開講レベル説明」

<https://www.rikkyo.ac.jp/support/international/CJLE/programs/level/> (2012.11.7 アクセス)

< J5 読解クラスの使用教材 >

三浦昭監修 岡まゆみ著 (1998) 『中・上級者のための速読の日本語』The Japan Times

産能短期大学日本語教育研究室編 (1991) 『日本語を学ぶ人たちのための—日本語を楽しく読む本・中級』産能短期大学国際交流センター

松田浩志・太田純子・木川和子・荒井礼子・亀田美保 (2003) 『テーマ別・中級から学ぶ日本語 (改訂版)』研究社

土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・石沢弘子 (2001) 『日本語中級 J501 —中級から上級へ—英語版 (改訂版)』スリーエーネットワーク

< J6 読解クラスの使用教材 >

三浦昭監修 岡まゆみ著 (1998) 『中・上級者のための速読の日本語』The Japan Times

三上京子・山形美保子・青木俊憲・和栗雅子 (2005) 『読むトレーニング・応用編—日本留学生試験対応』スリーエーネットワーク

石黒圭編著 熊田道子・筒井千絵・Olga Pokrovska・山田裕美子 (2011) 『留学生のための読解トレーニング』凡人社

大阪 YMCA 日本語教師会編著 (2009) 『パターンで学ぶ日本語能力試験 1 級読解問題集』Jリサーチ出版

鎌田修・梶本総子・富山佳子・宮谷敦美・山本真知子 (1998) 『中級から上級への日本語』The Japan Times

<参考資料>

1. 読み方について考えるためのシート

自分の国の言葉、日本語、他の外国語で読むときのことを考えましょう

何を読むか	何のために読むのか	どうやって読むのか	分からないことがあったとき、どうするか
新聞のニュース	情報を知るため	自分が興味のある記事article だけを読む	本当に知りたい言葉だったら、辞書で調べる。 前後の内容で推測する to guess
小説	楽しむため	最初から最後まで丁寧に読む	本当に知りたい言葉だったら、辞書で調べる。 前後の内容で推測する。
専門の論文	レポートを書くため、 授業の予習のため	最初から最後まで丁寧に読む	辞書で調べ、覚えるようにする。
友だちからのメール	友だちとよい関係をつくるため	最初から最後まで丁寧に読む	前後の内容で推測する。 友達に聞く。
大学の授業要項 course guide	授業を履修するため to take classes 情報を知るため	自分に関係のある部分だけを読む	辞書で調べる。 友達や事務の人に聞く。

名前:

2. J5 学習者の作成した語彙リスト (表)

私の語彙リスト

選取の日: 10月1日

名前:

今日のテキストの中で、わからなかった語彙を調べましょう

わからないことば	語彙	覚えたい?
語彙	어휘	✓
郵便	편지	
都市バス	시내 버스	
支払い求める	서올이다, 청구하다	✓
削り取る	삭제하다	✓
求める	구하다, 찾다	✓
車中無休	연중무휴	✓
逢害	음민	✓
片道	편도	✓
税込	세금 포함	✓
身障者	신체 장애자	✓
標準時間	표준 시간	✓
通常	통상	✓
通常	정상	✓
翌日	다음날, 익일	✓
浄水	정수기	
尻	뒷면, 엉덩이	
演芸場	연극, 공연, 공연장	

3. J5 学習者の作成した語彙リスト (裏)

今日のテキストの中で、覚えたい漢字を書きましょう

覚えたい漢字	語彙	その漢字を使った語彙
者 (〇)	person	
求	request, gather, collect	求人 - recruitment 求人 - official job 探求 - quest, pursuit
片	leaf, one-sided, right, left	片面 - one-way 片手 - one hand 片言 - be one-sided, be biased
障	ham, hinder, block	障子 - sliding window 障碍 - obstacle, barrier 保障 - guarantee, pledge (s)
団	group, association	団圓 - group, reunion, reunion 団圓 - multi-unit apartments
常	normal	非常 - emergency, abnormal 常態 - status, normal 常時 - usually, all day, constantly
浮	float, rise to surface	浮く (1) - float 浮く (2) - rise to surface 浮上 - rise to surface (s)

4. J6 学習者の作成した語彙リスト (表)

J6 読解 音類

私の語彙リスト
 授業の日: 10月1日 名前: _____

今日のテキストの中で、わからなかった語彙を調べよう

わからないことば	意味	覚えたいの?
深く覗く	deep ondersoeken	✓
機力的	dynamisch, energiek	✓
資金	geld (geld)	✓
受賞	賞を受ける	✓
故	reden overleden	✓
名送	い結果が大きい	✓
かてその	非常:	✓
優遇	zuster, non	✓
兼任 (活動)	veelzijdigheid	✓
医療検査	医師に見てもらう	✓
最先端	一番新しい	✓
治療	behandeling	✓
必死	desperate	✓
説明	uitleggen	✓
挑む		✓
姿も消す	disappear	✓
楽観的	optimistisch, rooskleurig	✓
せげどを 解る	aan brandwonde optaan	✓
構築	instituten	✓
炎 (はな)	vlam	✓
地震説	tektonisch systeem	✓
放棄 (ほうき)		✓
異論	opjection	✓

5. J6 学習者の作成した語彙リスト (表)

J6 読解 音類

私の語彙リスト
 授業の日: 10月28日 名前: _____

今日のテキストの中で、わからなかった語彙を調べよう

わからないことば	意味	覚えたいの?
肯定 (かてい)	→ 否定	✓
面食らう	être déconcerté, ahuri	✓
行き違い	croisement, malentendu, désaccord, divergence	✓
重んじる	donner (attribuer) de l'importance à, faire est cas de, respecter	✓
一概に	généralement, de l'ensemble, forcément, et similia	✓
歩み寄る	s'approcher de, se rapprocher de; se rapprocher (d'un de l'autre); faire des concessions mutuelles aboutir à un compromis.	✓

6. J5 学習者の作成した文

J5 読解 覚えたい語彙での短文作成
 名前: _____

自分が選んできた語彙の中から3つの語彙を選んで、文を作ってください。

① 言葉: 行き先
 原文: 志保から 11月23 までの 行き先 交通費は 600円が 高く高いです。

② 言葉: 封筒
 原文: 封筒の中に 本音が たくさん ありはれのに 気づきました。

③ 言葉: オーバー
 原文: ユニクロで 大きい オーバー を 買った。

J5 読解 覚えたい語彙での短文作成
 名前: _____

自分が選んできた語彙の中から3つの語彙を選んで、文を作ってください。

① 言葉: 産業 (さんぎん)
 原文: 現代、たいてい 新しい ことが 出てくるが、17の 産業が 分れている。

② 言葉: 水泳 (すいゆう)
 原文: 子供のころ 僕の 夏の 思い出が、水泳が たくさんある。

③ 言葉: 活躍 (かつやく)
 原文: 今年僕はずっと 活躍をして、FCSの 思惑を作った。

7. J6 学習者の作成した文

J6 読解 覚えたい語彙での短文作成
 名前: _____

自分が選んできた語彙の中から3つの語彙を選んで、文を作ってください。

① 言葉: 最先端
 原文: iPhone5 は やはり 最先端の 携帯電話として 人気。

② 言葉: 倒壊
 原文: 台風で 家が 穴山 倒壊 しました。

③ 言葉: ヒト 出め
 原文: 朝から夜まで 授業が おもてあたら、今 ヒト 出め した。

J6 読解 覚えたい語彙での短文作成
 名前: _____

自分が選んできた語彙の中から3つの語彙を選んで、文を作ってください。

① 言葉: 手洗 (てせん)
 原文: 勉強 して びんが 目がかゆい が、手洗 して 手洗 した。

② 言葉: 門戸
 原文: ちゃんと 準備 したら、日本 社会への 門戸 が 開く。

③ 言葉: 面食らう
 原文: パンコ屋 住み ながら いろいろ 食べても 面食らう した。

-
- 1) 初級である J0 レベル～ J3 レベルは、「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能統合の授業を行っている。
 - 2) シートは、国際交流基金 (2006) を参考に作成した。〈参考資料 1〉を参照。
 - 3) 学習者の作成したリストは〈参考資料 2～5〉を参照。
 - 4) 語彙リストの裏面はテキストにある漢字のリスト作成を任意でさせた。〈参考資料 3〉を参照。
 - 5) 日本語能力試験は日本語を母語としない人たちの日本語能力を測定し認定する試験である。2009 年までは上級である 1 級から初級の 4 級までの 4 つのレベルに分かれていたが、2010 年に N1～N5 の 5 段階のレベルに改定された。詳しくは日本語能力試験サイトを参照。
 - 6) 語彙の日本語能力試験の級レベル判定は「日本語読解学習支援システム リーディングチュウ太」を使用した。
 - 7) 日本語能力試験サイトより引用。
 - 8) 学生が作成した短文は〈参考資料 6、7〉を参照。